

鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)

事務事業No.14-4

記入日 平成25年4月24日

点検日 平成25年5月20日

事務事業(予算)名	広域行政に要する経費			作成課・係	企画財政課企画政策室								
政策名	4.1 計画の実現のために			施策	4.1.3 広域行政の推進		4.1.3.2 近隣自治体との連携						
関連計画・根拠法令等	①東葛広域行政連絡協議会規約 ②千葉県北西部企画担当者連絡会規約 ③												
事業区分	継続	前回総合評価	7.拡充	実施計画掲載	無	行革推進対象	無	事業実施主体	3.市	業開始年度	平成15年度以前	事業終了予定年度	平成33年度以降
関連類似事業名				予算(款)	予算(項)	予算(目)	予算コード	8 12-01					

1. 事業の目的	(1)事業の対象(誰を、何を対象としているか。範囲は。※補助事業等の場合は負担金・補助金の支払先も記入)	対象指標	指標名称(対象の大きさを表す)	データ出典
	市民及び近隣自治体	①近隣自治体数	業務取得	
		②		
		③		
(2)事業の概要(手段、具体的な事務事業のやり方、手順、詳細を記入)	活動指標	指標名称(手段や活動内容を示す)	データ出典	
東葛広域行政連絡協議会(松戸・野田・柏・流山・我孫子・鎌ヶ谷)、千葉県北西部企画担当者連絡会(市川・船橋・松戸・習志野・八千代・鎌ヶ谷・白井)、東葛飾・葛南地域市長懇話会(市川・船橋・松戸・野田・柏・我孫子・鎌ヶ谷)の枠組みを通じて、近隣自治体と連携し、広域的な共通課題の解決に向けた取組みや検討を行う。柏レイソルのホームタウンエリアとして、柏市の他、鎌ヶ谷・松戸・野田・流山・我孫子・印西・白井の8市で協力して、スポーツの振興を図る。	①広域行政に関する検討会数	業務取得		
	②鎌ヶ谷ホームタウンデー実施回数	業務取得		
	③			
(3)事業の意図(対象をどのようにしたいのか。どう変えたいのか。※どんなサービスニーズに応えるかでも可)	成果指標 (基本事業成果指標等)	指標名称(意図の達成度を示す)	データ出典	
・近隣自治体との連携強化 ・鎌ヶ谷市単独では処理困難な課題の解決に向けた検討を行い、市民サービスの向上を図るとともに、効率的な行政運営を実現する。 ・鎌ヶ谷ホームタウンデーを開催することにより、本市のPR並びに市民にプロ競技に触れる機会を提供する。	①共同処理事務数	業務取得		
	②鎌ヶ谷ホームタウンデー参加者数	業務取得		
	③			
(4)結果(どんな結果に結びつけるのか。※基本計画の施策の「めざす姿」との関わり)	施策成果指標	指標名称(結果の達成度を示す)	データ出典	
近隣自治体と共通する広域的な課題の解決に向けた取組みや検討を行うことで、市民の利便性や福祉の向上、行政の合理化や効率化を図るものであり、施策のねらい(めざす姿)に直結するものである。	①共同処理事務数	業務取得		
	②公共施設の共同利用数	業務取得		
	③広域要望の実現度(1年後までに改善がみられたもの/要望数)	業務取得		

2. コスト・実績の推移	年度	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標年度(年度)	
			決算	決算	決算	決算見込み額	予算額	今後の計画総額	
コスト・指標	(1)総事業費	自動計算	千円	332	336	184	121	134	0
	①国庫支出金		千円						
	②県支出金		千円						
	③市債・その他財源		千円						
	④一般財源		千円	332	336	184	121	134	
(2)総所要時間	(0.5単位)	時間/年	1000	1000	1000	1000	1000	1000	0
	①+②+③	自動計算							
	①正職員(時間内)	時間/年	1000	1000	1000	1000	1000		
	②正職員(時間外)	時間/年							
	③非常勤職員	時間/年							

3. 指標の推移等	指標		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標年度(平成27年度) 将来目標値
	(1)対象指標	①	数	10	10	10	10	10
②								
③								
(2)活動指標	①	数	30	23	9	12	11	
	②	回	1	1	1	1	1	
	③							
(3)成果指標 ※基本事業成果指標等	①	数	4	4	4	4	4	
	②	人			8,825	8,470	13,478	
	③							
(4)施策成果指標	①	数	4	4	4	4	4	
	②	数	0	0	0	0	0	
	③	%	0	0	16.7	0	0	
(5)指標の推移に影響を与えるような外的な要因はあるか。それは何か。								

4. 環境分析	(1)事業開始の背景・開始時の環境	自治体で処理すべき事務が広範多岐、複雑膨大となり、単独で処理することが困難な課題が増加している。	(2)過去5年間で事業を取り巻く環境はどのように変わったか ※新規は記入不要	主に施設共同利用や事務事業共同処理などが中心であったが、合併特例法改正などにより市町村合併の推進が検討されるようになった。 平成21年度には、近隣7市の市長による「東葛飾・葛南地域市長懇話会」が設立され、広域連携の可能性を検討した(本懇話会は平成24年度で解散した)。
	(3)今後事業を取り巻く環境はどのように変わることが予想されるか	市町村合併については、第29次地方制度調査会で「平成の大合併は一区切り」との答申が出され、今後は、市町村合併、広域連携、都道府県による補完といった選択肢から各自治体が適した仕組みを選択しながら行政運営を進めていく必要がある。	(4)事業について市民や議会の意見(市民意識調査、個別要望・意見)	平成20年の市民意識調査や東葛飾・葛南地域4市政令指定都市研究会アンケートでは、合併や合併後の政令指定都市移行への関心が高かった。

5. 評価・検討	(1)行政関与の妥当性	3: 高い	(理由)なぜ、市が関与の必要があるのか？ 行政課題解決の手法として、近隣自治体と連携して対応するものであり、市が主体的に進める必要がある。
	(2)目的妥当性	3: 高い	(理由)事業の目的は上位の施策にどのように結びついているか。近隣自治体との連携強化等により、広域的な行政課題の解決を図ることができる。
	(3)公平性	3: 高い	(理由)対象は偏っていないか？ 必要となる対象を広げたり狭めたりできないか？ 行政区域をこえて、市民の生活圏を踏まえた近隣自治体との連携を図っており、全市民的に影響するものである。
	(4)有効性	3: 高い	(理由)この事業を廃止した場合、施策達成に支障があるか。同じ目的を持つ他の事業はあるか？ さらに成果指標を伸ばせないか？ 市単独では解決することが困難な課題に対して、共通の課題を持つ近隣自治体と検討を進めるものであり、有効性は高い。
	(5)効率性	3: 高い	(理由)コストがかりすぎではないか？ 事業費、所要時間を縮減する手段・方法はないか？ 千葉県北西部企画担当者連絡会については負担金が無く、東葛広域行政連絡協議会の負担金も平成23年度から減額しており、これ以外は、会議出席のための普通旅費のみで、必要最低限の経費と考える。
	(6)総合評価	7: 拡充	(今後の方向内容) 今後、ますます市民の生活圏が拡大し広域的な対応を要する行政課題が増加してくるものと思われる、広域行政への需要はますます高まっていくものと思われる。

6. 改革・改善内容	(1)前回の事務事業評価で掲げた改革・改善内容	白井市との公共施設相互利用の検討を引き続き進めるとともに、現在、3つの広域行政検討の枠組みがある中で、それぞれの組織の趣旨・目的等を再確認し、会のあり方について検討していきたい。
	(2)(1)に基づく取り組み結果	白井市との公共施設(公民館やコミュニティセンター)の相互利用については、白井市と継続して協議を行った。また、これとは別に、市民プールの相互利用について、別途協議をした。「東葛飾・葛南地域市長懇話会」については、組織の趣旨・目的等を鑑み、各市同意のもと、平成25年3月をもって、解散した。
	(3)平成25年度に取り組む改革・改善内容	今年度は、「千葉県北西部企画担当者連絡会」の幹事市であることから、本連絡会において、近隣各市が抱える共通の問題や広域的な課題について、情報交換を行い、魅力的なまちづくりを実現できるよう、事務を進めていく。東葛広域行政連絡協議会など各市との広域連携の枠組みに限らず、個別の自治体との広域連携の可能性が高いものであれば、引き続き検討を進めていく。

※評価検討(1)~(5) 1: 低い、2: 普通、3: 高い、4: あてはまらない

※総合評価検討(6) 1: 終了、2: 廃止、3: 休止、4: 縮小、5: 改善、6: 精査・検証、7: 拡充

- | | | |
|---------------------------|------------------------------|--------------------------------|
| 1 終了: 事業が完了したので、終了する | 2 廃止: 事業を廃止する | 3 休止: 再開を前提に休止する |
| 4 縮小: 好ましくない状況なので、規模を縮小する | 5 改善: 事業実施方法等について、改善した上、継続する | 6 精査・検証: 業務手法等について精査・検証の上、継続する |
| 7 拡充: 重点的に資源を配分し、規模を拡大する | | |